

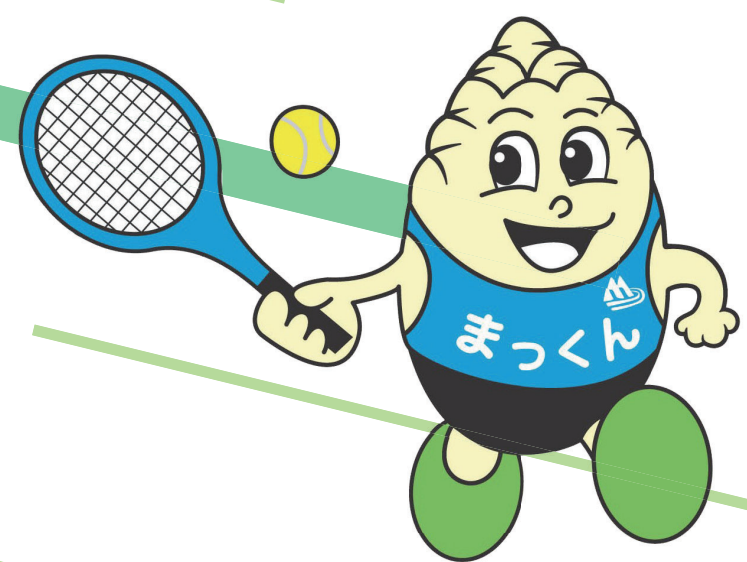
経済・社会・環境の課題を統合的に解決することを目指す SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みが、先進国、開発途上国を問わず始まっています。

SDGs のその理念は、南箕輪村が目指すスポーツ推進計画の方向性と重なる部分が多いことから、本計画では SDGs 目標達成に向けた取り組みを推進します。

【南箕輪村の目指すスポーツ推進計画におけるSDGs】



第3次 南箕輪村スポーツ 推進計画 2024－2033



みんなスポーツを
しようよ！

豊かなスポーツライフの創造

～「する」「みる」「ささえる」スポーツの楽しさを～

子どもから成人、高齢者、障がいのある人など、だれもが気軽にスポーツに親しみ、健康で豊かな暮らしを味わう村民が増えること、また、スポーツを通して地域の人々が交流し支え合うことで、地域が活性化することを目指し、生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組んでいきます。

「みる・ささえる」
スポーツも
大切だね！



VC 長野トライデント マスコットキャラクター
『グロッテ』

本編はこちらから

二次元
コード

基本目標

I
子どもの
スポーツ環境の
充実

II
ライフステージに
応じたスポーツへの
関わり方の向上

III
スポーツ環境の
充実

IV
スポーツ推進と
地域活性化



〈基本理念〉

〈基本目標〉

〈施策〉

〈取組み〉

豊かなスポーツライフの創造
「する」「みる」「ささえる」スポーツの楽しさを

I 子どものスポーツ環境の充実

子ども自身が遊びの中から体を動かすことに興味や関心を持ち、楽しみながらスポーツや運動を行える環境を提供することで、幼少期からの運動習慣づくりの推進に取り組みます。

学校の体育や地域のスポーツクラブ活動などを通じて、日常的にスポーツに親しむ子どもを増やし、生涯に渡ってスポーツに親しむ素地をつくります。また、体力の向上、精神面の成長や友人とのコミュニケーション力、協調性などの醸成を図ります。

II ライフステージに応じたスポーツへの関わり方の向上

村民一人ひとりの体力や生活リズムに合わせた、気軽に取り組むことができるスポーツや運動の機会を提供し、スポーツや運動の定着化、日常化を図るとともに、村民の健康への関心を高め、スポーツを通じた健康づくりを目指します。

また、高齢者に無理なく気軽に続けられるスポーツや運動の場、機会を提供することで、健康づくりや介護予防などの他、スポーツや運動を通じた生きがいづくりや地域の仲間づくりを目指します。

障がい者がいつでも気兼ねなくスポーツに取り組める障がい者スポーツの理解促進を図るとともに、障がいのある人もない人も一緒に実施できるユニバーサルスポーツの普及・啓発などソフト面の充実を目指します。

III スポーツ環境の充実

ハード面では、本村のスポーツや運動施設の充実を図るとともに、障がい者施設のバリアフリー化などハード面の環境整備、老朽化したスポーツ施設や設備の改修などに計画的に取り組み、スポーツ環境の向上を目指します。

ソフト面では、スポーツを楽しむための機会やスポーツをはじめるきっかけとなるスポーツイベントプログラムやスポーツ教室などの開催機会を提供し、村民のスポーツや運動の活性化を図ります。また、スポーツを支える人材（ボランティアなど）を育成するため、わくわくクラブやプロスポーツチームなど地域のスポーツ関係団体と連携し、スポーツ指導者やスポーツ推進委員など人材育成と一貫指導体制の構築を目指します。

IV スポーツ推進と地域活性化

村民、民間事業者、プロスポーツ団体、行政が連携してスポーツ推進に取り組むことで、スポーツを楽しむ機会を増やし地域活性化につなげます。また、スポーツや運動の楽しさや魅力、イベント関連情報など村民のニーズにあった情報を届ける取組みを進め、村民のスポーツや運動への興味関心の向上を目指します。

1 子どもの運動機会の充実

- （１）子どもの体力、運動能力の向上
- （２）子どもの運動機会、スポーツ環境の充実
- （３）指導者研修の充実

2 子どもを取巻く地域スポーツ環境の充実

- （１）学校における授業、スポーツ活動の充実と安全性の確保
- （２）障がいのある子どもの運動機会の充実と障がい者スポーツに対する理解の促進
- （３）部活動と部活動の地域クラブ活動への移行

1 「する」「みる」「ささえる」スポーツの普及



- （１）「する」スポーツの充実
- （２）「みる」スポーツの普及
- （３）「ささえる」スポーツの普及



1 村のスポーツ環境の整備

- （１）安全安心に利用できる施設環境の整備
- （２）利便性の高い施設環境の整備
- （３）障がい者スポーツ環境の整備
- （４）スポーツイベントや教室の促進

2 スポーツクラブやサークルの充実

- （１）NPO 法人南箕輪わくわくクラブ（総合型地域スポーツクラブ）の目的実現に向けた支援
- （２）スポーツ推進委員の活動の充実
- （３）スポーツ指導者の確保・育成

1 村のスポーツ推進と地域活性化

- （１）地域の諸団体・機関や民間事業者との連携による活性化
- （２）プロスポーツとの連携
- （３）スポーツ情報の積極的な発信

スポーツの定義

本計画における「スポーツ」は、勝敗や記録を競う競技スポーツ、生涯にわたって楽しむことができる生涯スポーツやレクリエーションスポーツ、健康づくり及び介護予防を目的としたウォーキングなどの身体活動を含むものとします。

計画における「スポーツ」への関わり方の3つの視点

本計画では、自らスポーツ活動を行う「するスポーツ」、試合を観戦したり、応援したりするといった「みるスポーツ」、ボランティアとして大会の運営に関わる「ささえるスポーツ」といった、「する、みる、ささえる」の3つの視点を、スポーツへの関わり方として捉えています。

「する」スポーツ

- ・子どもたちの遊び
- ・健康づくり
- ・体力づくり
- ・レクリエーション
- ・教室、イベントへの参加
- ・スポーツ交流の拡大
- ・ユニバーサルスポーツの体験



「みる」スポーツ

- ・子どもや家族・友人のするスポーツの応援
- ・テレビなどでのスポーツ観戦
- ・プロスポーツの観戦
- ・選手との交流
- ・大会、イベントへの参加



「ささえる」スポーツ

- ・総合型地域スポーツクラブなどクラブ活動への参加
- ・スポーツ指導者の育成
- ・スポーツボランティアの育成
- ・青少年や障がい者のスポーツをささえる人材の育成
- ・スポーツ情報の発信

スポーツ推進体制



基本理念
基本目標の実現

村民

共生・協働

総合型地域
スポーツクラブ
各種スポーツ団体

学校

支援

南箕輪村スポーツ
推進審議会

意見
報告

村

連動

スポーツ
推進委員

計画の位置付け

本計画は、スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第10条における「地方スポーツ推進計画」として位置づけられ、国の「第3期スポーツ基本計画」及び県の「第3次長野県スポーツ推進計画」、本村の「南箕輪村第5次総合計画」をはじめとする村の関連諸計画との整合性を図りながら、本村のスポーツ推進に関する施策をより効果的に推進していくための計画とします。

計画の実施にあたっては、社会的経済的情勢を勘案しながら弾力的に運用するものです。

成果指標と計画の検証

本計画の目標年次である2033年度（令和15年度）末に、基本理念である『豊かなスポーツライフの創造～「する」「みる」「ささえる」スポーツの楽しさを～』を実現するための成果指標を設定しました。

進捗状況の検証については、計画の期間内においても適宜行い、本計画の目標年次に合わせた2033年度（令和15年度）に、施策の最終評価を行います。

また計画の実施にあたっては、社会情勢や国・県の動向を注視し、スポーツのあり方や価値観が変化していく可能性が高いことに留意しながら、推進していくものとします。

「する」スポーツ

週1回～2回以上のスポーツや運動の実施率

2023年度 62.1% → 目標 2033年度 70.0%

スポーツクラブやサークルへの加入率

29.8% → 40.0%

スポーツイベントや行事の参加率

50.4% → 60.0%

「みる」スポーツ

スポーツの現地観戦の割合

27.1% → 35.0%

「ささえる」スポーツ

ボランティア・仕事等スポーツを支える活動に関わった割合

19.4% → 30.0%

※数値の表記は、「現在値（2022年度）→目標値（2033年度）」を示しています。
現状値は、2022年に実施した南箕輪村スポーツに関する村民アンケート調査結果（村ウェブサイトに掲載）より抽出しています。